



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1組・H2組・F組・A組

使用教科書：（美術1 光村図書）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図にもとづいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点を豊かにするために、幅広い知識を深め、表現における創造的な技能を身に付けるようにする。	表現における発想や構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った見方や感じ方の能力を相互に関連して高めていけるようにする。	学習に主体的に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情や豊かな感性を育むとともに、美術を通して生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
		絵 ・ 彫	デ ・ 映	映								
<b>オリエンテーション 鑑賞</b>	【指導事項】 ・美術の授業について ・年間授業計画の説明 ・教科書に掲載作品の鑑賞 【教材】 ・教科書 ・参考資料 ・プロジェクト拡大画像				○				○	○	1	
<b>私の見付けた風景&lt;鉛筆画&gt;</b>  【知識及び技能】 風景の中の空間を表す活動を通して、形や色、構図などの感情に与える効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどを捉え、鉛筆の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な場所の風景などから感じ取ったことや考えたことを基に、形や色、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	【指導事項】 ・水張りの方法 ・さまざまな描画材料 ・鉛筆デッサンの用具・材料 ・基本的な形の捉え方 ・遠近法について ・構図を考えながら場所の設定 ・設定場所で実際に透視図法を使い作画 ・光の方向を考え陰影をつけながら、対象物を観察する ・作品の充実度を見極める ・納得するレベルまで完成度を高める ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・パネル等水張り用具一式 ・DVD ・鉛筆画用具一式 ・資料プリント	○			○				○	○	○	18
<b>立体表現&lt;ペーパークラフト&gt;</b>  【知識及び技能】 彫刻の形体、量感や質感、動勢やマッサなどの造形要素等について理解し、材料や用具を活用しながら創造的な表現の構想を練る。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、質感などの表現を工夫し、主体的に主題を追求しながら心の中の感情を表すイメージの構想を練り、創造的に表現したり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 新しい視点で主体的に見つめる姿勢を醸成し、作者の心情や表現意図と表現の工夫などの感じ方を深め、創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・彫刻の美の要素 ・彫刻の表現と材料の種類 ・主題の生成 ・材料・用具の特性・使用方法 ・制作工程 ・構想を練る ・作品の充実度を見極める ・着色の工夫 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・DVD ・資料プリント ・ペーパークラフト用具一式	○			○				○	○	○	10
<b>美術館を楽しむ</b>	<夏季休業中課題>レポート作成				○				○	○	○	

2 学 期	立体表現<ペーパーラフト> <1学期参照>	【指導事項】 【材料】 <1学期参照>	○	○	○	○	○	○	○	8
	平面構成 <植物の幾何学図形での表現>  【知識及び技能】 「植物」を題材にして、色彩、構図などの持つ働きを理解し、伝えたい目的に応じて吟味し創意工夫して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 「植物」を深く観察し、調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、幾何学図形という表現形式の特性などを理解して心豊かに発想し、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の面白さを理解し、自分や他者の作品を通じて作者の意図や工夫を知り、主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・水張りの方法 ・紙の種類 ・絵の具の種類 ・筆の種類 ・配置の法則 ・構成と構図 ・色彩について ・着色の種類 ・溝引き、烏口等道具の表現と使い方 ・作品の充実度を見極める ・さし色、さき色の効果を検討 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・資料プリント ・パネル等水張り一式 ・着色用具一式	○	○	○	○	○	○	○	13
	美術館を楽しむ<発表>  【知識及び技能】 作者の創造性に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。 【思考力、判断力、表現力】 よさや美しさがどのように表れてくるのかを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞を通し創作活動に主体的に取り組む。	【指導事項】 ・レポートの発表 ・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作家や作品の見方や感じ方を深める 【教材】 ・レポート ・プロジェクター ・感想シート	○	○	○	○	○	○	○	6
3 学 期	版を用いて表現 <エッチング>  【知識及び技能】 生徒自身の活動した痕跡を残すという視点から、凹版の方法、技法について理解し、版画の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 凹版の特徴からどのような表現が可能か、イメージを膨らませて主体的に主題を生成し、自身の「美の在り方」の理想を追求するために構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に計画を立てることで見方や感じ方を深める創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・版画の種類 ・凹版の中のエッチングの特徴 ・エッチングの手順 ・道具の種類、扱い方 ・転写の手段 ・製版方法 ・作品の充実度を見極める ・印刷方法 ・版を重ね、納得するレベルまで高める ・版画におけるサインの入れ方、ルールについて ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・資料プリント ・銅版画用具一式	○	○	○	○	○	○	○	10
	展示 まとめ「これからの私と美術」	・生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えとともに、「美術とは何か」について1年間の学びとともに振り返る	○	○	○	○	○	○	○	4 合計 70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1 組～ H2 組・F 組・A 組

使用教科書：（教育図書 書 I）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着つけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形のよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や書に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	記 当時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	道具の並べ方道具の扱いを学ぶ。	書道用具のそれぞれの名称、使い方、配置などを学んでいく。				○	【知識・技能】書を書く上での道具におけるさまざまな要素、特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。（表現「知識」） 【思考・判断・表現】生活や社会における篆書的美と効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえる。（鑑賞） 【主体的】人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	8
	書道には、文字の変遷の歴史、文化史、文学など多岐にわたる分野との関わりのあることを理解させる。	書道と書写の違いと書道から学ぶことを知っていく。		○		○	【知識・技能】篆書を構成するさまざまな要素、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。（表現「知識」） 【思考・判断・表現】篆書の古典や臨書した作品の価値とその根拠、生活や社会における篆書的美と効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえる。（鑑賞） 【主体的】人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	10
	自分の名前を書いてみよう	墨を磨って、その墨で書く。その際筆の持ち方、書き方に意識を向けて練習を重ねる。		○		○	【知識・技能】漢字の書を構成するさまざまな要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】漢字の書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 ・漢字の書の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○	○	○	8
	楷書の学習 孔子廟堂碑と九成宮禮泉銘	筆法の相違点を認識する。実際に書くことによって筆法の違いを確かめ実感させる。孔子廟堂碑と九成宮禮泉銘の特徴を確認して、臨書の練習を重ねる。清書して提出。		○	○	○	【知識・技能】楷書を構成するさまざまな要素、楷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】楷書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 【主体的】人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	8
	行書について	蘭亭序から行書の基本的な特徴を学ぶ。行書の筆法を身に着ける。蘭亭序から行書の基本的な特徴を学ぶ。行書の筆法を身に着ける。行書を中心とした作品を制作する。				○	【知識・技能】行書を構成するさまざまな要素、行書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】行書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 【主体的】行書の古典の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○	○	○	14

